

## 第6回 大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会（摘録）

【日時】 平成24年9月6日（木） 15:00～17:00

【場所】 企業局3階 講習室

【出席者】 検討委員会委員 17人（欠席3人）  
教育委員会事務局 6人

【傍聴者】 0人

【次第】 司会：学校再編推進室主査

- 1 開会
- 2 議題

(1) 第4回・第5回大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会の摘録について  
修正等はなく了承。

(※ 情報公開センター及び市ホームページでの公表資料とする。)

### (2) 配付資料の説明

発言者	発言内容
委員長	前回の協議で、A～Dの案を検討する中で、第6回協議会ではB案の①と②、D案の①と②に絞って協議をすることとしていました。 事務局からB案②とD案②の資料が配付されていますので、簡潔に説明をお願いします。
事務局	(資料3)の中学校の再編案について、B案②、D案②の説明。 また、中高一貫校に関する福岡県の動きについて、当日配付の参考資料を説明。

### (3) 大牟田市での具体的な再編の在り様について

発言者	発言内容
委員長	先日の中学校の視察に参加された委員の方から、感想を出してください。 〇〇委員、中学校の施設をご覧になってどのように感じましたか。
委員	実際に視察したのと、話を聞いていたのでは大分違って、参加して良かったと思います。橘中学校のように大変古い学校もありました。また、米生中学校のように敷地が広い学校があるなど、学校によって環境が大きく違うということを感じました。
委員長	特に運動場の広さなど違いますね。
委員	都市部にある中学校、交通量があまり多くなくゆったりした環境の中学校と、各学校に特色がありました。 街中の中学校などを再編して、遠方から子どもたちを通学させる場合、自転車通学がベストなのでしょうが、交通の危険性も加味した上で検討しなければならないと思います。
委員長	通学上の安全性の確保ですね。
委員	各学校は、それぞれの特色を生かした環境であると思います。山間部の

	<p>甘木中学校は、階段式に校舎が建てられていました。勝立中学校も階段式で工夫され、有効に運動場も造られていました。水はけなどは二次的なもので、改善できる問題です。校舎が古い橘中学校、甘木中学校、勝立中学校など、改善できるものは改善すればできると思います。</p> <p>しかし、全校を見たのが果たして良かったのか。学校数を減らすということで協議していく上で、全校を視察したのは、ちょっときついなあと感じました。</p> <p>私はどちらかというと市街地の中学校を見たりしているので、実際に甘木・米生・勝立中学校を見たときに、本当に環境がいいと思いました。森に囲まれた中で教育を受けるというのは、子どもたちにとって本当は一番教育環境に適しているのではないかと思います。市街地の学校での車の騒音や、排気ガスが漂う校庭で運動するのと比較すると、恵まれていると思います。それをいかに有効に活用できるか、知恵を絞るべきではないかと思っています。</p>
<p>委員長</p>	<p>B案、D案を見ながら自分なりに考えて学校を視察しましたが、統廃合により学校がなくなるということに何か引っかかるものがあります。しかし、それを乗り越えてどう再編するのがベストか、考える必要があると感じました。勝立中学校の体育館は立派です。白光中学校はグラウンドも比較的広いし、鉄道が近くを通っているので騒音防止もされています。歴木中学校はとても運動場が広いです。田隈中学校は施設設備が立派です。橘中学校は運動場と校舎に段差があり狭い。甘木中学校は門の横に「交通安全宣言校」と記された塔が建っています。これは、生徒の交通死亡事故を受けて昭和 52 年の生徒総会で、「交通安全宣言校」を決めたそうです。生徒会が中心になって交通安全に取り組み、昭和 55 年に文部大臣賞を、昭和 56 年に内閣総理大臣賞を受賞しています。</p> <p>どの学校も特徴があったと思います。視察の最後に申し上げましたが、学校を造るときに、先人は良い所にいい学校を造っています。それが脈々と続いてきています。その中でどう再編するかということは、身を切る思いです。もしも学校がなくなっても、その施設を有効に活用することも考えながら我々は論議し、再編する学校をどう構築していくかという話し合いにしたいと、学校を見学しながらつくづく感じました。</p> <p>B案の①と②、D案の①と②をご覧になって、どの案が子どもたちのためになるかということで意見をお願いします。</p> <p><b>【各案に賛成の挙手】</b></p> <p>B案① 0  B案② 10  D案① 0  D案② 4</p> <p>B案②とD案②で集中的に協議してみましょう。</p> <p>今までの話し合いの経過から見ると、Bの②案は、そのまま甘木中学校が残ることになります。松原・白光の組合せでは、学校の位置を白光学校にする意見が多かったようです。</p> <p>米生と勝立の組み合わせは、まだ意見は出ていません。歴木はそのままです。</p> <p>問題は、橘・田隈の組合せでは、再編後の中学校を田隈に置くと、吉野小学校と上内小学校の子どもたちはとても通学距離が遠くなります。橘中</p>

	<p>学校ぐらいを学校の位置にすると、通学距離はちょうど均等になります。施設設備を考えると、田隈中学校の方が良いです。</p> <p>橘・田隈の件でご意見を出してください。</p> <p>現在、橘中学校に通学する上内小学校出身の子どもたちは、自転車通学をしていますね。吉野小学校出身の子どもたちは、自転車通学をしていますか。</p>
委員	一部自転車通学をしています。
委員長	銀水小学校区から橘中学校には、自転車通学はありますか。
委員	それは距離が近いからでないでしょう。
委員長	通学距離から言うと、橘中学校です。学校の位置を橘中学校にした場合、田隈中学校の立派な施設の活用方法を考えなければなりません。橘中学校に3つの小学校から生徒を受け入れるには、施設を今の状態から改善しなければなりません。その1つが体育館だと思います。それから駐車場。ご意見はありませんか。
委員	橘中学校の、校舎と運動場の間を通る道路は市道ですか。
事務局	市道です。
委員長	橘中学校に3つの小学校の子どもたちが進学すると、体育館は狭いですね。例えば、橘中学校の体育館を建て替えることができますか。
委員	<p>学校再編の場合、第二次実施計画で開校する天の原小学校もですが、当然再編の条件として体育館は新築するということです。それと駐車場の問題を協議すると、再編のもっと進んだ話になりますので、そういう状況であるという骨格の話であるほうが良いと思います。</p> <p>本当に学校をどう再編するかというのが、この検討委員会ではないかと思います。</p>
委員	Bの②に賛成しましたが、今後のことも考えていくと、モデル校的に小中一貫をこの際考えてはどうかと思いました。Dの②で、手鎌小学校は白光中学校区に入れて、明治・白川・手鎌小学校が白光中学校で、中友小学校・大正小学校・松原中学校で小中一貫校を考えてみてはどうでしょうか。
委員長	もう少し基本的な論議をしましょう。
委員	<p>前回、B案の②であれば、当初から問題はないと思います。田隈中学校を再編するか否かに止まります。田隈を元の歴木に戻すB案②であれば、将来小学校区も変えなくて良いので、すんなり再編することができると思います。</p> <p>D案になると、小学校区から変えなければならないので、政治が介入しながら橘中学校の場所を移動して、新しい校舎を造っていく必要があるのではないのでしょうか。橘中学校の現在の施設は、多くの中学生を受け入れる規模ではないと思います。その辺も踏まえて、5校にする場合の条件、6校ならば議論する中である程度答えが出てくるのではないかと思います。</p>

	す。
委員長	5校にすると、橘中学校はどこかに新設する方法もあるのではないかと いうことですね。
委員	D案にすると、学校の位置は甘木・橘・田隈のどこかになります。現 状で橘中学校になることはないでしょう。体育館を建替えるスペースもな いし、検討委員会で協議する事項ではないですが、池田橋近くに学校自体 を移動しなければ受け皿はできないのではないのでしょうか。
委員長	完全に新設校を考えるとということですね。
委員	橘中学校をご覧になって分るように、段差のある土地に校舎が建って、 一番下に体育館がありますが、果たして再編というのは一体何なのか。橘 中学校を再編後の学校として使い甘木中学校も全部再編するような状況で あるならば、我々の言う子どもたちのためというのは、教育環境もつくっ ていかなければならないのではないのでしょうか。
委員	<p>環境的には都市部が良いのか、自然がたくさんなところが良いのかとい うことで、私は自然いっぱい米生中学校から電車の音が鳴り響く白光中 学校に異動しました。今の時期は白光中学校の教室の窓は開けっ放しです。 運動場や体育館での練習の声はこの学校も同じでしょうが、それに加え てJR、西鉄、貨物列車の音で先生の話声が聞こえないことも多いです。 最初は騒音が気になってしょうがなかったのですが、子どもたちは次第に 慣れて、例えば大きな声を出さなければならない場面では、電車よりも大 きな声を出すよう発破を掛けられて鍛えられるという逞しさも出てきてい るというのが、今の白光中学校の生徒たちの現状です。</p> <p>前回の会議でもB案の②と申しましたのは、距離的なことよりも学級数 の問題を中心に考えて発言しました。</p> <p>D案の②になると、白光・松原・甘木の一部が一緒になって19から2 0学級という学級数が生じます。他の学校に比べてかなり大規模校になり ますし、1学級の人数を見ても、40人学級想定だと37～38人になり ます。</p> <p>エアコンが未設置の状態での38人では、35人というのと3、4人の 差はとても辛いものがあります。子どもたちは、6月の終わりから残暑の 厳しい頃までの教育環境に、よく耐えているなと思います。子どもの立場 に立った見方で思い浮かんだのが、B案の②でした。</p> <p>学校の立地は必ず都市部だったり、自然が豊富な場所だったり異なる ので、電車の音を聞くのか、鶯の鳴き声を聞くのかという違いはもちろ んありますが、子どもの学習環境は均一であってほしいと思います。</p>
委員長	Bの②案は、羽山台小学校と銀水小学校が中学校に分かれて進学する というのが1つありますね。それから、中学校を橘と田隈の再編の学校位置 をどちらにするかですね。
委員	B案の②とD案の②それぞれにいいと思いましたが、D案②では、20 学級のマンモス校があります。子どもの教育環境の面と、今は子どもたち を取り巻く環境が、情報が錯綜したりして生徒指導面でもいろんな配 慮が必要なときに、20学級というのはどうなのかと思います。生徒指導

	の点も見極めて、B案の②がいいのではないかと思います。
委員長	D案の②に賛成の方のご意見をお願いします。
委員	<p>6校ならばB案の②だと思います。B案の②は第二次実施計画で11校から9校になったのを6校に減らすだけです。それでいいのでしょうか。</p> <p>今までの協議の中で、適正規模の12学級を基本的に守っていくのならば、やはりD案でしょう。D案の①は米生・勝立の9学級以外は12学級以上になるので、将来的にはD案の①が正しいのではないかと思います。</p> <p>しかしそこには小学校区の問題がありますので、D案の②に賛成しました。9校を6校に減らして再編したと言えないという観点に立って、5校のD案②を支持したいと思います。</p>
委員長	<p>観点をまったく変えて、これはどう思われますか。</p> <p>検討委員会で中間報告を出し、保護者・地域などの意見の跳ね返りを受けて、最終答申を出します。中間報告のときに、検討委員会は1つの案で出す方法と、2つの案を出して意見を聴取するという方法もあるのではないのでしょうか。</p> <p>そうすると、保護者・住民の意見は、B案②とD案②をご覧になって2つに分かれるでしょうね。予想としては、6校の方になる可能性が高いかもしれませんが。1つの案に絞って出すか、それとも2つの案を提示して出すかということで、何かご意見はありませんか。</p>
委員	2つの案があった方が比較できて、保護者や地域の方が意見を出しやすいのではないかと思います。
委員長	住民・保護者の感情としては、1つの案を出すよりも、2つ選択肢がある方が意見を出しやすいのではないのでしょうか。検討委員会が意見聴取を受けて最終答申をするときに、2案で出した場合と1案で出した場合のどちらがしやすいかということも絡んでいると思います。
委員	2つにしたら、3つや4つにはならないと思います。今までA、B、C、Dの案がありましたが、そんなに広がることはなく、市民の皆さんの気持ちとしてはどちらかに収束し、多数のほうに傾くだろうという予測はつきます。
委員	2つの意見を出すなら、あまり揉めない案に必ず決まります。それで良いのがこの検討委員会だろうと思います。
委員	おそらく市民は1校でも多い、7校とか8校ぐらいがいいわけです。市民の皆さんが意見を言って、検討委員会が答申を出す状況が果たして良いのか。6校がハードルも低くベターだと個人的には思いますが、再編とは何なのかを協議した中で、答申は検討委員会で意見を集約して出すべきだと思います。
委員長	1つの案を中間報告で出すこととしましょうか。検討委員会では、地域、保護者の意見だけで判断するではありません。最終的には検討委員会が責任を持って、住民や保護者の意見を聴きながら判断しなければならないと思います。中間報告は1つの案であろうが2つの案であろうが、答申は検討委員会が責任を持って決めます。ただ、2つの案を出すと多くの意見

	<p>が出るのは事実です。例えば6校が良いという意見が多くあっても、検討委員会はD案の②で行きますと最終的に答申する方法もあります。2つの案を出すと、小さな修正で答申できるかなあということもありますので、検討委員会が判断するときの手法として、考えなければいけないことです。</p>
委員	<p>私はBの②とDの②の2つの案を提示する考えを持っています。保護者が納得するのは、最初に子どもたちの安心安全、その次に安心して学べて学力がつくことだろうと思います。</p> <p>そういう面でB案②とD案②の比較表に、安心安全面の説明を付け加えていただくと、安心安全面に意見を焦点化しながら市民から意見が出るのではないのでしょうか。</p> <p>検討委員会では、子どもたちの幸せを第一に考えるということで、前回の検討委員会で委員長がまとめられていると思います。子どもたちの幸せは、まず安心安全から来るのではないのかと思います。</p>
委員長	<p>中間報告が1つの案であろうが、2つの案であろうが、安心安全は付け加えなければなりませんね。</p> <p>子どもたちが減っていくので、再編をするという推計資料があります。それは中間報告の際の手法として知恵を出していきましょう。</p> <p>いま問題は、Dの②案中間報告するのか、Bの②案も含めるのかということですが、意見がいろいろありますので、もう少し議論を深めてみたいと思います。</p>
委員	<p>第二次実施計画により、中学校11校が9校になります。それが最終的には、B案だと6校になり、11校からは5校減ります。保護者は今ある11校を基準に考えていかれると思いますので、5校減るのか、6校減るのかということになると思います。</p> <p>今ある11校から5校にするのか、6校にするのかという議論をした方が良いのではないのでしょうか。船津・右京・延命中学校はこの検討委員会ではノータッチとなっていますが、それを含めたところでの再編を考えるべきではないですか。</p>
委員	<p>最初から右京・船津・延命を1校にするということが前提です。これがバラバラならば、また話しは違ってきますが、通学区域審議会でも3校の再編は答申されており、計画になっています。</p>
委員	<p>11校から6校、5校になるという話をすると、保護者はワッと思われます。民意を説いても、安全面から考えると6校に落ち着くのではないかと思います。方向性としては、どちらにするにしても、検討委員会として1つにまとめて出していくべきではないのでしょうか。両案を聞くと、またまとめていかなければならなくなります。</p>
委員	<p>B案の②を選びました。子どもの数は減っているので、いずれもっと再編が必要になると思います。そこに行く過程で、ずっと辛抱して荒療治をするのか、手間隙かかるが、子どもたちのことを思って短いスパンで優しく減らすか。私は、荒療治はあまり好きではなくて、優しく極力減らさないような考えです。</p>
委員	<p>B案ならば市民は納得すると思います。D案の②は、白光・松原・甘木</p>

	<p>の一部だけが20学級と多くなりますが、試みても良いのではないのでしょうか。</p>
委員長	<p>今日のNHKの昼のニュースで、文科省が5年計画で35人学級にするという報告がされていました。検討委員会の資料は40人学級で作成されていますので、学級数は増えると思います。</p> <p>D案②の20学級というのは、昔の大牟田を考えると、745人の生徒数は少ないです。歴木中学校や米生中学校も、以前は生徒数が1,000人を超えていました。生徒数によって体育館の面積は違うので、田隈も歴木も立派な体育館が建てられています。20学級で745人というのは、大規模校ではありません。平成36年度に9学級というのが、逆に少ないと思いますので、学校数は減らしたが良いです。ところが保護者からは、徐々に減らせばいいという意見が出ます。</p> <p>どの案になっても、検討委員会が答申した後、行政では地域の理解を得るためのこまめな努力が必要になるでしょう。</p>
委員	<p>B案②に賛成しました。</p> <p>将来このまま子どもの数の減少傾向が続くならば、北と南の2校でも良いと思いますが、いきなりではなく徐々に減らすほうが良いと思います。後々、再編成が必要になるかもしれませんが、まず、6校に再編してみたら減らすというのがあるのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>B案の②が良いと思います。</p> <p>どこに再編後の中学校を持ってくるのかで、通学距離など、いろんな問題が出てきます。</p> <p>D案②だと最初から5校で、通学距離が引かかるので、B案②が良いと思います。特に北部の倉永小学校、手鎌小学校、上内小学校、吉野小学校は、D案だと倉永から上内まで1つになりますので、かなりの通学距離になるのではないかという感じを受けますので、B案の②が良いと思います。</p>
委員	<p>D案は、白川小学校が歴木中学校に行くのはどうかという意見が、前回の会議で出ていました。白川小学校が全部白光学校中学校に行けないということであれば、反対意見が出てくるのではないのでしょうか。また、大正小から手鎌小まで結構距離があります。北部では、田隈・橘を再編した場合の橘中学校の校舎の位置の問題も難しいと思いますので、B案の②が無難ではないのでしょうか。</p>
委員	<p>適正規模・適正配置ということですので、まず子どもたちのためにどういう学級規模が大事なのかという観点で見ました。子どもの数は減少傾向ですから、30年、40年先をと言われても何とも言えませんが、今の時点で見ると、B案の②が学級規模として良いのではないかと思います。適正配置ということでは、保護者アンケートにもたくさん出ていましたが、通学距離や通学の安全確保に配慮が必要だと思いますので、B案の②が良いと思います。</p> <p>中学校の校舎の改築といった学校の環境整備については、新設も含めて考えるという条件は、検討委員会である程度出していくことも必要ではないかと思います。</p> <p>いずれにしても、三池小学校や天道小学校、銀水小学校は2つの中学校</p>

	に分かれて進学していますので、小学校単位で1つの中学校に進学させてあげたいと思います。それを解消できるという意味では、両案ともよくできていると思います。
委員	D案の②を選びました。中学校は5校か6校という観点で先々のことを考えると、少子化と言われますので、5校にしてはどうかと考えました。D案②では20学級で700人以上の規模の学校が出てきますので、もし5校のD案②であれば、もう少し平均化するよう、例えば手鎌小学校を倉永や吉野、上内小学校と一緒にして、銀水小学校を羽山台や三池小学校と一緒にというような修正をすれば、平均化するのではないかと思います。 また、先ほど委員長が言われたように、20学級は決して大きすぎる学校ではないと思います。
委員長	B案の②の方が多く意見が出ています。これを多数決で決めるわけにはいきませんから、具体的に中身を見ながら検討を進めましょう。 どちらの案にしろ、羽山台小学校・銀水小学校、田隈中学校に関わりません。現在は倉永小学校と手鎌小学校の2校で甘木中学校ですが、D案では2つの中学校に分かれます。それぞれ一長一短があります。 B案②とD案②の学級数の推移を見ると、平成36年度は米生・勝立はどちらも同じです。B案の②では甘木中学校も9学級です。ところが、D案の②では甘木は再編されて、20学級というのが出てきます。今から10年後でも9学級や12学級で、規模の小さい学校が多くあります。 そう考えると、思い切って5校ぐらいにした方が良いかもしれません。しかし5校にすると、甘木中学校の校区の問題、広さの問題が大きな課題になってきます。1つの案を中間報告するならば、どちらにしたが良いでしょうか。
委員	D案②はマンモス校ができて、他の中学校の2校分くらいあります。白光中学校は現在9学級なので、それを20学級にした場合、教室をいろんなことに転用しているので、教室が不足するという問題が出てこないでしょうか。
委員長	現在、空き教室は特別教室などに転用していて、どの学校も余裕があります。20学級は大牟田市内ではマンモス校ですが、筑後市では中学校が3校しかなく、20学級は小さいです。
委員	D案が平均的ですが、前回の検討委員会では、白川小学校を白光中学校区にするか、歴木中学校区にするかという議論でした。 それで、白川小学校の近くに白光中学校があるので、規模が大きくなっても良いから白光中学校区にするということでしたので、結果的にマンモス校になります。今まで適正規模で検討してきた中ではD案が1番ですが、再編するのに支障があるということで、D案なら②の方が良いのではないかということになりました。
委員	D案②で、例えば松原・白光のところに手鎌小学校が入って20学級ですが、13学級の橘・甘木の方に手鎌小学校が入った場合はどのくらいの規模になるのですか。
委員長	ここで休憩を入れて、後半で再編する学校をどこに配置するかを具体的



	に協議します。
--	---------

【5分休憩】

発言者	発言内容
事務局	D案②で手鎌小学校を橘・田隈・甘木中学校にした場合、680人で19学級、白光・松原・甘木中学校は、手鎌小学校が減って513人で14学級です。
委員長	学級数が16であっても14であっても、学校運営上は大した差はないと思います。ただ、学校をどのように再編するかという目安として、頭に入れてください。 中間報告は1案でいくということによろしいですか。
全委員	了承。
委員長	今までの意見では、5校か6校ということで意見が出され、B案②に賛成する意見が多いです。 B案②にした場合、保護者、地域でいろんな意見が出ることが想定されます。その中には、「5校にして欲しい」、または「もう少し多くしてほしい」といった様々な意見が出るとは思いますが、仮にB案の②で決めたいと思います。  【勝立・米生中の再編】 どちらに学校を置くか。通学距離からは断然米生中学校です。勝立中学校はとても立派な体育館を持っています。検討委員会では、通学距離と学校規模で検討を進めています。その理屈から言うと、学校の位置は米生中学校になります。 それと、この校区の小学校は、天の原小学校が再編で出てきましたが、規模の小さい駛馬南・駛馬北小学校があるので、この2校は再編が必要ないでしょうか。
委員	当然、駛馬南小学校と駛馬北小学校は将来的には必要です。ほかの小学校もあります。
委員長	【勝立・米生中の再編】 駛馬南・駛馬北小学校の再編を考える。  【右京・船津・延命】 第二次実施計画で再編を進める。  【松原・白光中の再編】 施設見学の際に、松原中学校は狭くて古いと感じましたので、白光中学校を学校の位置にする方が良いと思います。校区内に小学校は4校あり、大正小学校が1番規模は大きいです。明治小学校と中友小学校の規模が小さく、これをどうするかということをお頭にしておいてください。  【甘木中学校】

	<p>倉永・手鎌小学校の2校で甘木中学校です。甘木の特徴は、市内で1校しかない夜間照明がありますが、排水が悪く、視察時は地域が冠水していました。市内の学校で1番校地面積は広いですが、有効面積は約60%です。</p> <p><b>【歴木中学校・田隈中学校の再編】</b>      歴木は学校の位置は歴木中学校になります。白川小学校の問題は、白川小学校と平原小学校の再編という見方が1つ出てきます。</p> <p><b>【橘・田隈中学校の再編】</b>      橘中学校の現存の施設を使用するのか、新たに新設するのかを含め、再編後の学校は橘中学校ではないでしょうか。      そうなると、田隈中学校は地域連携施設として立派な体育館を持っています。これをそのままするのは勿体ないので、何か活用できないかということで考えると、銀水小学校が隣接しています。銀水小学校区の道路事情は悪いので、最近、歩行者専用の道路がつくられ、グリーン塗装がされています。田隈中学校を活用するためには、銀水小学校を田隈中学校に移すという方法もあります。ただ、プールなどの施設を小学生用に改良しなければなりません。      そうなると、橘中学校の施設を充実させてどこかに新設するか、それとも既存の橘中学校の施設を、例えば体育館の下を駐車場にするなどあります。例えば、八女市の星野中学校は、県道で校舎と体育館の敷地が分かれていますので、そういうこともできます。</p> <p><b>【D案】</b>      手鎌小学校が松原・白光中学校の再編校に入ると規模が大きくなるので、距離的に白川小学校を平原小学校と再編する方法があります。      北部では、倉永・吉野・上内・銀水の4つの小学校で、B案の②と同じように橘中学校にする方法もあります。ここでは甘木中学校の施設が学校の利用施設から外れます。</p> <p>最終的に1つの案で中間報告をするならば、B案の②かD案の②かということを決めておき、次回に出してもらった中間報告の資料を見て決めていくという方法があります。B案もD案も保護者・住民から同じくらい意見が出ると思います。D案は甘木中学校が分かれ、倉永小学校が橘中学校に入ってきますから、ものすごく校区が広がります。B案だと甘木中学校が再編されずに残りますので、距離的にはD案の②よりも保護者のご理解をいただけるのではないかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>B案とD案であれば、保護者は圧倒的にB案②が良いという方向に行くのではないかと思います。通学距離、通学する学校の変更など、ハードルが低いと思います。      D案は、「なぜ」という意見が出てくると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>B案②は田隈中学校だけの問題でしょう。D案になると、「なぜ甘木中学校まで」という意見が出ます。      交通手段はすぐ解決できることだから、そんなに問題はないと思いますが、1番は田隈中学校がなくなるということが市民の皆さんは問題だと思います。しかし、D案に比べるとそれほど困難ではありません。</p>

委員長	甘木中学校校区を2つに割るというのもあると思います。
委員	それは2学年だけのことです。いずれにしても母校はなくなります。小学校が分かれるということではなく、進学するだけです。
委員長	Bの②案の羽山台小学校と銀水小学校は、現在田隈中学校に進学していますが、これが分かります。
委員	小学校が異なりますが、そこまで考慮するのですか。
委員長	銀水小学校は田隈中学校から、倉永・手鎌小学校は甘木中学校から分かれることについて、意見が出るのではないかとということです。
委員	そこまで深刻に考えなければならぬのですか。甘木中学校がなくなれば、物理的に通学できなくなります。それよりも、三池小学校の子どもが2つの中学校に分かれて進学するのは問題だと思います。
委員長	良いか悪いかではなく、そういう意見が出るということを行っているだけです。
委員	D案②に賛成しました。ハードルはB案の方が少ないと思いますが、先々のことを考えると、学校再編が始まった経緯からすれば、ある程度の規模を確保して子どもたちの教育環境に活気が出るということです。全体では10年間で生徒数が2割減っているのに、白光・松原・甘木（一部）の校区だけ生徒数が2割増えているので、これが本当になれば活気が出てよいと思います。20学級という学校も、冒険として大規模校を大牟田市に1校つくってみるのも、この検討委員会の答申のあり方としてあっても良いのではないかと感じ、D案②に賛成しました。
事務局	生徒数の推計は、住民基本台帳人口及び中学校への進学率の3年平均に基づき算出しています。大正小学校区ではマンションもかなり建っていますので、その辺りの子どもが増えているのではないかと考えられます。
委員	中友小学校は児童数が減少していますので、大正・中友小学校の再編は、駛馬南・駛馬北小学校と同じような状況で発生すると思います。
委員長	<p>検討委員会の性格からは、全会一致で中間報告を出して、いろんな意見を聴いて熟慮し、最終答申を出すということになりますので、冒険も必要です。</p> <p>ただ、冒険をするためには、高いハードルを越えなければなりません。他の地域では、再編校の敷地で揉めて、後から方向を変えたために大混乱しているところがあります。</p> <p>冒険をする中で中間報告を行い、意見を十分聴いて、その時点できちんとしていく。そのためには、やはり中間報告は、どちらに中学校を置くかということを決めて、小学校の再編計画も併せて出す必要があると思います。将来の大牟田の学校規模は、検討委員会の意見はB案②の6校が多いですが、D案②の5校でい겠습니까。D案②で中間報告を出して意見を聴いて、どうしても駄目なときは6校にするということでしょうか。</p>

委員	検討委員会は冒険してはいけないと思います。冒険で答えを出すのは危険ではないでしょうか。
委員長	市民の理解を得るためだけに中間報告を出すのではなく、ある程度検討委員会の気持ちを出すことを冒険と言っています。
委員	検討委員会ではB案②の意見が多いので、B案②がいいのではないのでしょうか。
委員	D案②で中間報告をするならば、倉永小学校区から田隈中学校までは非常に距離が離れていますので、橘中学校かその近辺に校舎を建てることを出して、答申してはどうでしょうか。安全面など、まず子どものことを考えて、ここは再編するべきだろうと思います。 距離的なことも十分考慮した上で、細かい手を打ってあげる。将来は大牟田全体を検討し直すかもしれませんが、それまでは今いる子どもたちを大切にしたいので、B案②が良いと思います。
委員	B案②に賛成しましたが、D案②の校区図を見て、中友・大正小学校を右京・船津・延命中学校区の再編校区に入れたら、手鎌・明治・白川小学校区はそこまでマンモス校区にはならないのではないのでしょうか。
委員長	今の意見は、第二次実施計画に関わります。検討委員会での検討の初期に、第二次実施計画は尊重するというで決まりました。中間報告を出して、保護者からはそのような意見が出てくる可能性はあるでしょうね。その場合には答申にそれを織り込んではどうでしょうか。
委員	今のご意見は、右京・船津・延命中の再編を変えるということではなく、松原・白光の再編をする時期に、大正小学校が右京・船津・延命中の再編校に行ってはどうかとおっしゃっていると思います。
委員	そうです。
委員	松原・白光中学校の再編をするときにマンモス校になるので、中友・明治・白川・手鎌小学校で再編して、大正小学校は右京・船津・延命中の再編校に近いので、こちらに編入したらどうかということをおっしゃっています。
委員長	中間報告ではそれは触れないけれども、最終答申で触れることも有りうるということですか。
委員	そういうことです。
委員	大正小学校だけを右京・船津・延命の再編校に編入するのでしょうか。
委員	中友小学校を入れてもいいと思います。
委員	松原中学校と新生右京中学校を一緒にしてはどうかとおっしゃっています。

委員	面で見ると、松原中学校と延命中学校は横に並んでいます。でも3中学校の再編は最初に決まっているので、難しいということです。
委員	新生右京中学校と松原中学校を組み合わせると、形的に5ブロックに分かれるという構想を当初は持っていました。再編の時期がずれていくので、その途中で2つに分けて右京中学校に編入するというのも、実際に議論として可能なのでしょうか。
委員長	右京・船津・延命中学校の3校の再編については、再編対象校の保護者・地域に第二次実施計画を説明されています。この検討委員会の最初に、第二次実施計画なので原則として計画どおり進めるということを決めています。中間報告に右京・船津・延命中学校の3校での再編を変更することを出すと、検討委員会は通学区域審議会と違う意見を出したということになります。だから、中間報告を出してみても、保護者からそのような意見がたくさん出たときに最終答申で取り扱うようにしないと、中間報告で右京・船津・延命中学校の3校再編の変更を出すと混乱します。
委員	B案とD案では、手鎌小学校が上に行くか下に行くかしか違いません。本答申で、松原中学校を新生右京中学校に再編制することが技として使えるならば、私は最終的には5校ぐらいにしたいと思っていますので、D案で中間報告をした方が良いのではないかと思います。
委員長	中間報告の内容を見て、どのような意見が出てきたかによって検討しないと、今検討すると大きな問題になります。右京・船津・延命中学校の再編については、松原中学校を入れるかどうかも含め、ずっと以前から課題ですので、この検討委員会では最初に第二次実施計画については計画どおり進めることを決めました。
委員	教育関係の方だけで第二次実施計画を考えたからです。右京中学校から船津中学校ができた、右京中学校の分校から延命中学校ができたという基本方針が一番初めに入っているのです。第二次実施計画の組合せになりました。 この検討委員会では、市民意見や民間的考え方で意見が出されているので、第二次実施計画の考え方からずれていると私は認識しています。平成14年の基本構想のスタートは、どの学校がどこから分離したというように基本理念だけで検討されたと思います。この検討委員会では、新しいまちづくりで、新しい学校をつくろうという再編計画を検討しているのだらうと思います。
委員長	通学区域審議会では、右京・船津・延命中学校は、一小一中の点からも3つの中学校を再編してはどうかという意見もありました。
委員	第二次実施計画のときは、たぶん様々な分野の方が通学区域審議会に入られていますので、決して学校関係者だけで決めたのではないと思います。
委員長	様々なことから右京・船津・延命中学校の3校再編を決めたけれども、今となつては窮屈な面があるので、検討委員会の1回目の会議で取り扱いを協議し、第二次実施計画を検討委員会が変わるのはまずいだらうということで、右京・船津・延命中学校の再編は計画どおり進めることとしたと

	<p>いう経過をご留意ください。</p>
委員	<p>施設関係は、ある程度校区が決まった時点で考えていくべきではないでしょうか。新設校を造る予定にはなっていないと回答もあっていますが、物理的にこの施設では駄目だという問題も必ず出てくると思います。D案もひとつの案かと思います。ただ、小学校再編のときに先ほどの意見も出ると思います。小学校再編を併せて中間報告するのではないでしょうね。</p>
副委員長	<p>少しハードルが高いかもしれませんが、市民の皆さんからいろんな意見が出るためには、D案を中間報告で出してみ、いろんな意見が出たのを調整しながら、最終的にB案になるかもしれないという方法でも良いのではないかと思います。これなら良いだろうという案を中間報告で出して、あまり意見が出ない内に答申するよりも、様々な修正があるかもしれませんが、少しハードルが高いD案を中間報告として出してみてもどうかと思います。</p>
委員長	<p>中間報告はD案でよろしいですか。 2つの案を絞ることが出来ないならば、B案とD案を中間報告のまとめを作って、次回の会議で検討するという方法もありますが、なるべくしたくありません。</p>
事務局	<p>事務局では、検討委員会で示された方向性で資料を準備したいと思っています。</p>
委員	<p>適正規模についてはこれまでに検討してきた中で決めてきました。12学級から18学級は適正規模であると検討委員の皆さんが認めていました。最終的には6校にすれば、9学級とか7学級になるかもしれませんが、D案ですれば、米生・勝立の再編校だけが平成36年度に9学級になるだけで、あとは12学級を保ちます。 検討委員会としてはD案です。そうでなければ、今までの会議はあまり意味がなかったということになります。D案②で中間報告を出して、いろいろ問題が起きたらB案の②にしましょう。</p>
委員長	<p>検討委員会で適正規模は12から18学級と決めてきましたので、それは尊重しなければなりません。通学距離も尊重しなければなりません。</p>

#### (4) 議事のまとめ

発言者	発言内容
委員長	<p>なぜ12から18学級を適正としたかということが必ず出てきますので、ハードルは高いかもしれませんが、D案で中間報告をするということでもよろしいですか。B案②に賛成の方は不満でしょうが、次回に中間報告の原案を見られて、やはりB案の②が良いということであれば意見をおっしゃってください。中間報告はD案で作っていただきます。D案の中で最終的にどこに学校を置くかは決めておかねばなりません。 米生・勝立中学校の再編校は、米生中学校。駿馬南・駿馬北小学校の再編は検討事項でよろしいですか。 松原・白光中学校の再編校は白光中学校。小学校は、明治小学校と中友小学校の規模が小さいので、明治と中友の再編を考えてみる。</p>

	<p>白川小学校は、そのまま白光・松原中学校区とするが、資料を見て歴木中学校が良いということであれば検討する。</p> <p>倉永・吉野・上内・銀水小学校を一緒にし、再編校は橘中学校の方で考える。ただし、学校の場所、設備等が今後の大きな課題である。</p> <p>残った施設の活用としては、田隈中学校は地域連携施設があるので、銀水小学校の校舎としての活用も検討したい。</p> <p>甘木中学校の跡地は、検討委員会で活用について意見を出すことは出来ません。もしも案があればお出しください。</p> <p>大きな特徴は、夜間照明設備があり、環境も良いということです。そこで、施設設備を生かす方法を考える必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>松原中学校の利用には触れない。</p> <p>次回は、以上の内容で資料として中間報告案を作ってください、検討してその内容でよければ中間報告をするということを進めたいと思います。</p>
--	---

#### (5) その他

発言者	発言内容
委員長	その他で何かご意見はありませんか。
委員	県立高校が中高一貫を申請するのですか。
事務局	中高一貫校は全て県立となっていますので、高校が申請します。中等部、高等部の職員も県立学校職員として配置されます。
委員長	事務局から何かありませんか。
事務局	次回の第7回の検討委員会は、10月上旬頃で調整し、日程をお知らせします。

### 3 閉会